

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島委員	図書館と博物館について、協議を始めていきたいと思います。
浅野館長	<p>白書の209ページの内容について、若干変わっているので資料の方で説明します。図書館の現状や課題についてですが、現在の図書館は昭和55年3月31日に建設され、当初は5万冊を蔵書できる図書館としていましたが、当時は3万冊から始まり、今は書庫の8万冊とあわせて14万冊を超えて保有している。通路幅を狭めたり本棚を高くしたりして対応しているがもう限界に来ている。2階に書庫もあるが横積み状態になっている。</p> <p>また、4千冊ほど美中や旧質屋に分散して保管している。施設も老朽化しており、修繕して対応している。照明も照度不足であり、駐車場の敷地も狭く冬は除雪の雪で埋まってしまう。</p> <p>～別紙、現計画の検証を説明～</p>
小田島委員	建て替えの構想はあるのか
浅野館長	現状では、書架の幅を狭めたりし増してきたが、蔵書は限界に来ているので図書館側としては、建て替えを希望しているが、財政当局に話しをしているわけではない。
木村委員	保管の方法として、図書をスキャナーで取り込んでデータで保管しているというところがあると何かでみたことがあるが、そうしたことは現実的にできるのか。
浅野館長	最近、新しく建て替えしている図書館は、本にICチップを埋め込んで、どこに何があるか一目瞭然に分かるようなシステムになっている。今北見市は8月オープンで建て替えをしているが北見市はそれを導入しようとしている。
木村委員	蔵書がいっぱいであれば、データで保管できれば、紙媒体として保管するよりかさばらないし、そうした保管方法でやることはどうなのか。
浅野館長	デジタル化はできなくはないが、高額であるということと、お客様はやはり紙ベースでゆっくり読みたいというのが多い。廃棄する本より購入する方が多い。
小田島委員	建て替えるとしたら他の箱物と一緒に図書館を中にいれたり併設するとかも考えていった方がよいのでは。
浅野館長	色々なパターンがあると思うが、図書館側としてみれば、そうした複合施設に入るとしても、図書は結構重たいので1階のメインの場所に無ければ難しいのかと思う。最近は自動車で来ていっぱい借りていくお客様が多いのでやはり駐車場が広くないとならない。そうすると場所的にも併設するのは厳しい。屋根も片屋根で南側に雪が落ちるようになっていて、南側の壁も全面ガラス張りになっているため、落ちてきた雪をはねなければならない。
牛島委員	施設は古くなっているし、本も増えて入り切らなくなっている。また、貴重な本はデジタル化して保管するというのも必要なのかと思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野館長	今の時代、電子図書で誰でも見られるようにはなっている。
浅野主査	これからは、そうした電子図書も購入して、図書と併用していく時代になってくるのかもしれない。
浅野館長	著作権の問題もあるので、すべてそうできるものではない。国立国会図書館の検索サービスが始まり美幌でもできるようにパソコンをいただいたので申請している。そうなれば古い図書で著作権が許されているものは検索して閲覧することができるようになると思う。日本全国の図書館がネットで繋がっているので、検索して他から借りることもできる。ただ、今の図書館では本が横積み状態になっていることは反省している。また、町民に不要となった図書は無償で譲渡するようにしている。
牛島委員	図書館まつりでは、毎年町民がいなくなった図書を持ち寄って、ほしい方に配ったりしている。
浅野主査	図書館機能は機能として必要であるが、保管している図書は、子育て支援センターとか他の施設に分散して図書を手にとって見られるように設置していったらよいのではないか。
浅野館長	団体文庫ということで、29箇所に希望を聞いて選書して届けている。福祉施設とかが多い。自衛隊や併設老人クラブや個人病院、小中学校も含め置かせてもらっている。
木村委員	もう建て替えするとなれば、駐車場も含めて考えると、なかなか町中だと場所がないのではないか。
浅野館長	今は隣に役場分庁舎があるが、そこに新たに建て替えをして、今の場所を駐車場にするという事も考えられる。
小田島委員	役場庁舎の建て替えという話しが昔あったが、今の計画には全くない。今度の計画に入れていったらよいのか。図書館の建て替えも計画に入れていけるものか。
浅野館長	増築してもという話しもあるが何せ敷地がない。子ども達の利用も多く、夏休みは特に多い。
小田島委員	図書館にスペースがあれば交流もできて良いと思う。
浅野館長	ブックスタートなどの効果もあり、絵本広場では満員御礼で、お母さん方が来て読み聞かせをしている。もう少しスペースがあればいいのだが最近図書館でも暖炉があって、飲み食いもできる場所があって、コーヒーを飲みながらでもよいとしているところもある。もし、こぼして図書を汚した弁償してもらおうこととしている。
浅野主査	白書の中にも図書館にカフェができると良いという意見もある。借りて家で読んでいけば、皆さん食べながら飲みながら読んでいると思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島委員	網走は、広いスペースに机が置いてあって、そこで静かに勉強もできる環境になっている。
木村委員	子どもが遊べるスペースもあると、一緒に来て本を読みながら遊ばせられる。
浅野館長	ケガが一番心配である。ケガしないような施設にしなければいけないと思う。暖房も古いのでやけども気をつけなければいけない。
浅野主査	民間のカフェにもという意見があるが。
浅野館長	公立でもカフェができています。
浅野主査	喫茶店や美容室など民間にも図書を置いてもらう方法もあるのでは。
浅野館長	町中図書館という話も出ているが、団体文庫で貸し出しているということで、美容室などにも貸し出ししている。
浅野主査	施設の整備充実では、現計画の検証の通り建設検討ということでよいか。
木村委員	思い切って建て替えが必要だと計画に入れていったらよいのでは
小田島委員	改修とかは町の考えに任せて良いのかと思う。
牛島委員	皆さんの意見として、出していくことが大事だと思う。
浅野館長	そういう意見はとてもありがたいが、他の施設も建て替えが必要となると思うが優先順位もあるかと思う。施設が分散しているのが一番不便だと思う。
牛島委員	建て替えが必要であるということで、良いのではないかと。続いて博物館長から説明をお願いします。
小林館長	<p>～別紙、資料について説明～</p> <p>職員は臨時嘱託職員含め10名で学芸員の資格を持っているのが正職員で3名、嘱託臨時職員で3名である。今は美術の専門職員もいる。美術の展示も狭くなっているが、その専門職員に任せて充実させてきている。</p> <p>昨年工事で冷暖房の工事が終わった。車イスで来たときに屋根の雪が全方向に落ちるようになっていたため車イスが通れない。</p> <p>冷暖房が悪かったので資料が傷むと借りにすることもできなかった。駐車場も狭く自前で土を起こして、砂利を敷いて整備した。</p>
木村委員	博物館は住民の関わりとして、子どもは行くと思うが、大人はなかなか行く機会がない。そうすると維持管理ばかりがかかって、利用があまりないとどうなのと思われるのが普通だと思うが、自分も最近までそういう考えもあったが、美幌の博物館はすごいという人がいて、どうして美幌にそんな学芸員がいるのかと驚かれるくらいで、そうなのかと思った。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小林館長	大人になると博物館の利用がなくなるというが、来る人は来ているし大人になってもスポーツをしない人はスポーツセンターに行かないし、本を読まない人は図書館に行かないのと同じかと思う。だからこそ大人の人が行ってみたいと思わせるような展示をしなければいけないという風心がけている。博物館のPRが足りないと書いてあるが、他の博物館と比較してもうちの博物館ほど情報を発信してアピールしているところはないかと思う。新聞は勿論であるが、NHKにも情報を出してもらっているし、今は財政にお願いして、じゃらんにも年1回出してもらった。出した途端に関西から問合せもあった。
木村委員	町として博物館はお荷物と言われた事もあったと思うが、町として美幌の博物館はすごいんだとちょっと町として押していった方がよいと思う。こんな素晴らしい博物館をこの町の規模で持っているところはないのだからもっとアピールすべきである。
小林館長	今、講座の参加者の3割は町外である。町の施設なんだから町民に優遇してもらいたいと思うかもしれないが、町外から来てもらえれば町に来て、ガソリンを入れたり、買い物していくかもしれないし、お金が落ちて経済効果にも繋がる。町民の大人は一度行ったらもう行かなくても良いという感覚になるかもしれないが、そこに行くきっかけとなる企画展や講座を打ち出すのだが、それも好き嫌いがあるので、年度計画で色々な事を取り組んで行こうとしている。
木村委員	「びほーる」のように声かけやすいネーミングにしたらよいのでは。
小林館長	今はポスターでも「美博へ行こう」とアピールしている。学校の利用がとても増えているが、一番ネックなのが交通の便で足がない。高校の先生が送り迎えの問題や事故の問題もある。スクールバスも使えない。しかし学芸員がいることで職員が仕事を持ってきて仕事の量は増えている。
木村委員	新千歳空港にポスターを出してPRしたらよいのでは。
小林館長	女満別空港にポスターを貼ってもらおうと思ったらダメだった。
木村委員	発信力をあげようと思ったらお金を掛けないとダメだと思う。
小林館長	関西は道東に行きたいという人は多いと思うが、そういう情報があまり入ってこないといわれる。
牛島委員	商工観光とかの連携が必要だと思う。美幌のパフレットもないということでは、もっと連携して宣伝していったら良いのだと思う。
浅野主査	みどりの村のキャンプ場やエコハウスに宿泊したら、利用券を配ったりデュアスロン大会でも参加者に無料券を配って何人か見に行ってくれたりなどタイアップが必要だと思う。
小林館長	ペタンク大会でもプログラムを持ってきてくれたら割引などした。そうしたきっかけができればよいのだと思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野主査	白書の中でも、博物館の活動が周知されていないとか、魅力が伝わっていないという意見もあり、情報を発信しているのかとは思いますが計画の中にそうした情報の発信という内容をしっかり盛り込んでいたら方がよいと思う。ここでは学校授業という内容しかないので学芸員が取り組んでいる生涯学習としての事業も計画に入れておかなければ、専門職員としての学芸員の魅力が伝わらないのかもしれない。学校授業もあるがプラス事業の取り組みも計画に盛り込んでいったらどうでしょうか。
牛島委員	発信の方法を観光とタイアップするなど工夫していったらよい。バスも町のバスを使うなど活用していったらよい。
小林館長	ポスターもあちこちに貼ってもらうようにしている。
浅野主査	ホームページもあるが、もっと企画展などのイメージができるよう工夫したらよい。
牛島委員	バスで博物館にも寄れるということは、ホームページとかでPRできているのか。
小林館長	阿寒バスと観光ともタイアップして、多分やるのであろうと思うが、予算も含めて連携を図って行きたい。
牛島委員	広告もお金がかかるが必要なお金である。
木村委員	来てもらわないことには始まらない。まずは発信力が大事。美幌町の非公式ホームページを立ち上げ記事を更新したら千何人もの人が見てくれている。社会教育のことを町としてアピールしていく事が大事ではないか。担当部署がやっているからとかではなく、町でやっていることなんだから町がそれぞれを押しつけないとダメなんじゃないかと思う。
小田島委員	人材の活用と施設の利用を上げるということ、施設の改修については必要な事を順次やっていくことでよいかと思う。
牛島委員	芸術文化の内容に入っていきます。
荒井主幹	～別紙、社会教育事業調べに沿って事業の説明～
小池主査	全国の統計をみると文化ホールの稼働率は一般的に50%が平均で、どこのホールでも目指せ60%といわれ、70%行くと神がかりで80%は異常と言われるほど、それだけスタッフが動かなければならない。びほ一るは使用料が安い。北見や網走では本番使用の2日で20万円は使用料がかかる。美幌は利益を求めないものであれば50%減免で6万円で1年前から利用が埋まる状態であり、抽選するほどである。
牛島委員	びほ一るの設備のスタッフも充実していて素晴らしい。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小池主査	<p>ホールの建設では美幌が今のところ最後であり、設備的には勿論良いところ劣るところもあると思うが、他のホールも参考にし、スタッフの対応については、全道一を目指そうと心がけている。使われる方は渡り鳥で、全国からスタッフを引き連れて使っていて、そしてまた全国に散っていく、そうすると美幌のホールはいいとかあそこは悪いという情報がその業界でものすごい早く伝わっていく。美幌の評価に繋がっていく。使う側は1年間その日のために練習をして来て、その一つのシーンを壊すとそれが1年間台無しになってしまう。そういう面でもスタッフとして念頭に置いて誠意を持って対応している。</p>
牛島委員	<p>ホールは舞台にしても、席についても素晴らしいのもっとアピールして良いと思う。</p>
荒井主幹	<p>びほ一は演出するためだけではなく、そこに出向いてくる人やそこに関わる人が喜ぶ、感動するということが健康にも影響するし、人と人とが繋がっていく。また、町外の方もイベントによっては飛行機で来てくれるし、沢山の方が美幌に来てもらって、びほ一の良さを知ってもらったり、健康に繋がるという意味でホールの機能が持つ役割だと思う。</p>
牛島委員	<p>良いものを呼んでやれると他から人を呼び込める</p>
荒井主幹	<p>他市町の催しもののポスターも管内に掲示していて、他のホールにも美幌のポスターを貼ってもらっている。</p>
小池主査	<p>舞台を使ってもらおうというだけでなく、そこから発信していくことが大事なのかと思う。演劇セミナーをやって今年度も予定しているが、町民が活動して発信していく事をしていきたい。またホールを利用してもらう方々のマナーを教えることで、意識も高まってきている。</p> <p>499席しかないで、他の町のようにビックなコンサートなどはチケットでペイできないので、なかなか呼びにくい。それでもびほ一にこんな方がきてくれたとかビックな方々を呼んでできるようにはしていきたい。</p> <p>基本、文化連盟が受け入れて実施している。1事業打ち出すとチケットを売らなきゃならないので、それが3つも4つもとなると貸しを作ってしまう方も疲れてしまうということになる。</p>
荒井主幹	<p>今若い方も関わって動きが出てきているので、文化連盟だけではなく、そうした若い方にも頑張ってもらっている。</p>
浅野主査	<p>若年層向けのイベントが少ないと白書の中にも書かれていて、ないわけではないと思うが、若い方がスタッフとして関わるとかでやりがいを持つといった取り組みもあって良いのかと思うが、具体的に若い方の取り組みというところでどういうものが上げられるか。</p>
小池主査	<p>去年、ブギウギ上杉専務の催しを向こう側からやってくれというのがあり、そこに若い方に声を掛けて開催したが、その方々でまた鑑賞事業としてやれる予算も付けてもらい、また若者が喜んでもらえることを2本ほど呼んでやろうという動きになっている。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小池主査	若い方になかなか「びほ一る」に足を運んでもらえない状況もあるので、若者が来たいと思えるようなイベントをやっていききたい。
牛島委員	町民会館の改修も前回説明もあったが、びほ一ると連動して活用できるようなものになっていくという事で進んでいただけたらと思う。
荒井主幹	びほ一るを補完するという形で耐震も含め、町民会館の建て替えを考えている。
浅野主査	住民の活動と催し物分ける必要はないと思うが、びほ一ると町民会館の改修とあわせ、その辺の活用の考え方についても少し計画に触れても良いのかと思う。
小林館長	博物館関係について、別紙資料を説明
牛島委員	伝承、発掘というのは具体的にどういうものがあるか
小林館長	<p>町並みであったり、その変遷など、詳しい方が大分亡くなってきている。分からないことが多い。学芸員で地元出身がいない。協力者として、関わってくれたり明和大学で教えてもらったりしている。郷土資料の収集は図書館と打ち合わせしながらお互いに保管している。家を建て替えするときに古い地図が出てきたりすると喜んで取りに行ったりしている。</p> <p>瑞治足柄奴も文化財審議会があるが、そこでも足柄奴を文化財として残しておく必要があるかという話が出てきている。お祭りでも先導していたが2年間出てない。どういう形で残していくか。社会教育事業として高校生に伝承していくかとか検討しなきゃと思うが、瑞治地区の方はこれは瑞治の文化だから他の方には一切やってほしくないといわれている。前は40人ほどいたが、今は10何人くらいがいた。瑞治地区の中でも何とか伝承して続けたいという意見もある。衣装も壊れたりして修繕してあげたりはしている。</p>
牛島委員	せっかくの伝承文化なのでもったいない。
小林館長	<p>古い雑誌やがらくたなど屋根裏から出てきたらぜひ譲ってほしい。</p> <p>古い貴重品などを買う予算を付けてもらってもどれをいくらで買うというのがなかなか難しい。昔は評価委員という会議を開いたこともあるがそれにもお金がかかる。絵を買う場合にも、その人の絵を他の人と同じように並べないでくれという場合がある。絵の評価もそれぞれであるが、描く人によっては格が違うといわれる事がある。</p> <p>他市町でも絵画の評価委員で意見が分かれて決められないという話も聞く。</p>
牛島委員	そうした購入するための予算もしっかり付けてもらい、基金とかを活用しても良いと思うが、何かあれば買えるお金は必要かと思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
浅野主査	歴史の継承の項目で、地域の方からの聴き取りという内容であるが、現在町史を作成しているが、その辺との連動はあるか。
小林館長	町史の聴き取りで、知り得た内容や資料を残してもらおうようにしてほしい。
浅野主査	美中の冷暖房設備の空調システムは新たに導入することとなったとあるが、計画としてこの表現でよいか。
小林館長	導入したので削って良い。
小田島委員	収蔵庫は新たに必要なのか。
小林館長	あつたに超したことはない。上美幌小とか遠くて取りに行くにも大変で他の方に見てもらうことができない。美中であればまだ集約できてよい。
木村委員	保管する場所はきりが無い。
浅野館長	耐震、防火、防犯というところでは、問題はある。雨漏りもしている。
小林館長	ある程度保管するものを選定して持って行っている。 3つの収蔵庫があったが、みんな場所が遠く子ども達が見たいといったときに冬なら除雪しないと入っていけなかったり、そういった意味では美中に集約できてまだ良くなった。
牛島委員	しっかり予算は付けてもらいたい。
三山委員	収蔵庫よりは図書館の方が優先順位は高いと思う。
小林館長	スポーツセンターも古いが教育施設として、どこを改修するのか全体的に優先順位を決めていく必要がある。
牛島委員	今後スポーツについての話しにも入っていくので、そこでまた皆さんと協議していきたい。